

都立病院におけるファシリティドッグの導入

■場 所：都立小児総合医療センター

■開始日：8月1日（木）

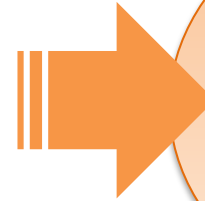
■協働事業者：特定非営利活動法人
シャイン・オン・キッズ

■専門的な訓練を受けた犬（＝ファシリティドッグ）と臨床経験のあるハンドラーがペアで、がん等の病気で入院している子どもとその家族を、院内で継続的にサポート

**都内初の導入
（全国3例目）**

ファシリティドッグの活動内容

- 病室を訪問し、一緒に遊ぶ、
添い寝をする
- 検査・処置、歩行訓練等に
付き添う



気持ちを落ち着かせることで、
不安や痛みを
軽減

子どもが前向きな姿勢で治療に臨めるように支援

小児総合医療センターで活動する「アイビー」



ベッドやプレイルームでの入院中の子どもや家族との触れ合い

アイビーと
ハンドラー

「アイビー」：ラブラドルレトリバー（2歳6か月・雌）
アメリカ生まれ。約1年4か月間の訓練を経て、来日

※写真はテスト
期間中の様子